

## 令和6年度 就職慣行等に関するアンケート調査（企業）②

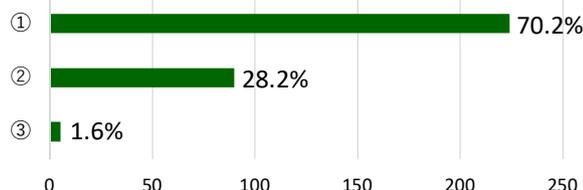
### 【調査概要】

- ◆対象企業 : 令和6年度に高校生の募集を行った企業のうち842社を抽出
- ◆回答数 : 319社
- ◆調査方法 : WEBアンケート調査

※新規高卒求人への公開時期は現行の制度では7月1日以降とされています。

### 新規高卒求人への公開時期について

① 現行の制度のままで良い	224人
② 現行の制度より求人公開の時期を早めた方が良い	90人
③ 現行の制度より求人公開の時期を遅らせた方が良い	5人



### 各項目の主な選択理由

#### ① 選択理由

- ・ 大卒者の採用活動が落ち着いた時期に、高校生の採用活動が実施できるため。
- ・ 学校側のスケジュールや生徒の進路等を考えた場合、現行の制度のままの方が良いと思われる。
- ・ 公開時期が早すぎても落ち着いて学業に専念できず、遅すぎても準備が慌ただしくなるため、今のままでちょうど良い。
- ・ 高校生にあまり早いうちから採用活動をさせるべきではないと考えているため。
- ・ 公開時期が早くなってしまうと、過度の獲得競争が起こり、内定者拘束や、学業にも影響が出るから。
- ・ 一般的な高校生の夏休み期間、大学生の採用活動期間を考えると現行のままが望ましい。
- ・ 4から6月は新入社員の定着支援に力を入れたいので、一斉に7月開始とされていた方が良い。

#### ② 選択理由

- ・ 現行制度だと2ヶ月の間に会社見学に参加して、応募企業を決定しなくてはならず、スケジュールとしてかなりタイトに感じるため。
- ・ 高校生に企業を選択する期間を長くすることでミスマッチを減らせるから。
- ・ 就職希望者に企業研究時間をもっと与えることにより、自分のやりたいことを考える時間を持つと思うため。
- ・ 多くの方が見学に訪れる夏休みまでの期間が長い方が、会社側の高校訪問や質問対応に十分な時間をとることができる。
- ・ 現状、求人公開前に生徒が昨年度の求人に応募先を検討しているため。
- ・ 沢山の求人がある中で、不採用になった場合など、他の企業への再申込みも早められると思う。

#### ③ 選択理由

- ・ 7月はテスト等があるので、夏季休暇に入った際が望ましい。
- ・ 大きな企業ほど採用に割ける時間や人材は増えると思う。時期を遅らせる事で中小企業でも資料や採用対策を行う時間が確保できる。
- ・ 高校3年生の夏休みで本人の考えや意識、雰囲気が変わることが多いので、9月からの公開が望ましい。
- ・ 進学か就職で迷ってる生徒が多いため。
- ・ その他学歴（大卒・高専卒等）の採用状況が確実にってから高卒採用を実施したいが、高卒採用は一度求人を公開すると原則取り下げ不可であるため、募集要員が不安定な状態で求人情報を出さなければならない場合があり、非常に抵抗感がある。